

# 独自技術の事業化に向けた取組

会社名 垣堺精機株式会社  
 所在地 埼玉県秩父郡小鹿野町下小鹿野875番地  
 従業員 8名  
 資本金 5,000万円  
 売上高 1億3,400万円  
 業種 スリッターマシンの設計・製造・販売



## 支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- これまでスリットが困難であった炭素繊維束をスリットする加工技術を開発するに至り、炭素繊維用スリッターマシンを事業化していきたい。
- これを実現していくために、ビジネス面からの整理と、知財面からの対応方針の具体化が必要となっている。

## 支援を受けてできるようになったこと

After

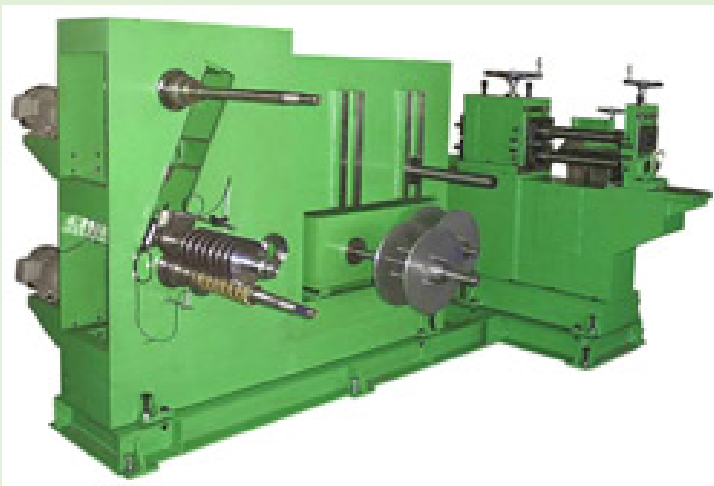
- ビジネスの方向性が定まり、またそこで必要となる技術の出願対応および对外発信（ブランディング）に関する方向性も定まった。
- また、契約や営業秘密管理等、知財管理体制面でも強化を図ることができた。

## 今後の事業展開の展望

Future

- スリッターマシンのさらなる開発を行い、事業化を進めていく。
- WEBサイト改修を本格化し、自社のブランディングを強化していく。
- 知財管理体制の強化に向けて、具体的な体制整備、契約関連の整備等を進めていく。

## 重点支援を受けた事業や商材



【出典】垣堺精機株式会社WEBサイト  
<http://www.kakizakai.co.jp/index.shtml>

炭素繊維束については、従来スリットを行うことが困難であったが、当社の技術開発によりこれを可能なものとできた。

箔、薄物のスリッティング等、これまでに顧客の要望へと対応することによって蓄積してきた技術・ノウハウが当社の強みであり、これを活かして炭素繊維束のスリット技術開発へとつなげることができた。

今後、炭素繊維用のスリッターマシンを完成させ、事業として実施していきたいと考えている。

## 重点支援を実施するにあたって整理した課題



| 取り組んだ課題      | 課題に取り組んだ背景・理由                                                           |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------|
| ビジネスモデル確立    | これまでの蓄積によって、新たな技術開発をできたところであり、それを事業化するための検討が必要な状況であった。                  |
| 知財戦略構築       | 今回新たに開発した技術をもとに事業を展開していくうえで、出願検討や営業秘密管理等、知財面からの戦略を考えておく必要がある。           |
| 契約・交渉        | 新たな事業を進めていく際に、他社と接する場面も出てきているが、事前に当社の秘密情報の仕分けや、他社との契約締結について準備しておく必要がある。 |
| 販売戦略確立       | ビジネスモデルの確立とあわせて、想定するビジネスフローの精査や、情報発信上の工夫等、営業販売面で見直しを行う必要がある。            |
| 知財マネジメント体制強化 | 知財活動への取組を進めていくために、知財に関する意識醸成や、各種規程整備等を現段階から進めておく必要がある。                  |

## 重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



| 支援を受けた事項   | 支援を通じてできるようになったこと                                                                                                              | 活用専門家      |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| ビジネスモデルの検討 | <ul style="list-style-type: none"> <li>海外展開も視野に入れたビジネスプランの具体化</li> <li>ターゲットに自社の魅力が伝わるようなWEBサイトになるように改修へ着手(ブランディング)</li> </ul> | 弁理士、技術士    |
| 知財戦略       | <ul style="list-style-type: none"> <li>先行技術調査の実施およびそれに基づく自社のポジション確認</li> <li>出願すべき内容と、ノウハウとして秘匿すべき内容の精査</li> </ul>             | 弁理士、技術士    |
| 知財管理体制     | <ul style="list-style-type: none"> <li>契約の重要性を理解</li> <li>営業秘密管理のポイントを認識および管理体制構築に向けた活動開始</li> </ul>                           | 弁理士、知財戦略AD |

## 支援チーム紹介

リーダー専門家:弁理士 藤掛 宗則

活用専門家:技術士、弁理士、知財戦略AD

知財総合支援窓口担当者:埼玉県知財総合支援窓口 渡邊 公義

PO(プログラムオフィサー):今村 孝